

紫波ネット 11

人と地域をつなぐ広報紙

2019・No.1019

| 岩手県紫波町 |



HPはこちら



ドローンを用いて
地域と産業に貢献したい

今月の表紙

株式会社マルショウ紫波 代表取締役

伊藤 政之さん (古館地区在住)

農業資材・機械などを扱い地域の農業を支える(株)マルショウ紫波。3年前に多様なドローンサービスを提供するマルチローター事業部を立ち上げ、水稻の防除作業、災害現場の情報収集のほか、「あづまねマウンテントレイル2019」では、ドローンによる空撮を担当するなど、活躍の場を広げています。伊藤さんは「地域の特性を生かした独自の視点を持つことで、もっとドローンを地域や産業のために活用したいです」と語っています。

特集

自然を駆け抜ける楽しさ味わう
「あづまねマウンテントレイル2019」開催

03 行ってみよう!あづまねエリア湯遊スポット | 04 紫波町産業まつり | 06 まちづくり座談会2019 | 10 体協だより | 19 POPコンクールの入賞者をお知らせします

自然を駆け抜ける楽しさ味わう 「あづまねマウンテントレイル 2019」開催



爽やかな風を感じながらゴール!

「あづまねマウンテントレイル2019」が10月6日、ラ・フランス温泉館多目的グラウンドをメイン会場に開催されました。東根山麓を中心に地域活性化や交流人口拡大を目指す「あづまねイイ山イイ湯だなプロジェクト実行委員会（中田久敏委員長）」が開催し、今大会で2回目。今年は一般の部に187人、新設された親子ペアの部に28組56人が出場。一般の部は東根山約13キロの周回コース、親子ペアの部は登山口手前の林道約3キロのコースを、自然や秋の爽やかな風を満喫しながら駆け抜けました。

今回は「あづまねジャンボリー」と題して、食べ物やアウトドアグッズ、デイクヤンプなどが楽しめるコーナーも設けられ、参加者のみならず観戦者もアウトドアな一日を楽しみました。



季節も距離も最高で、楽しかった!



全員完走しました!



頂上からの眺めが最高!



頑張るぞ!



親子ペアの部の参加者も楽しみながら駆け抜けました



笑顔で走る参加者たち



観戦者からは「ファイト!」の声



坂がきつかったけどお父さんと走れて楽しかった!



目標は20分以内でゴールすること!

ラ・フランス温泉館 ホテル湯楽々

有名温泉
に負けない
名湯!

泉質
なめらかで
ツルツル
です!

選べる
多彩な宴会
コースが
好評

記念日
など暮らし
の節目に
使ってね!

行ってみよう! あづまねエリア 湯遊スポット



ラ・フランス温泉館は、あづまねエリアの交流スポットをつなぐ集いの場になっています

肌にやさしいアルカリ性の天然温泉で「美人の湯」と呼ばれています。室内温水プールや多目的グラウンド、テニスコートもあり、家族や友人、スポーツサークルなど、みんなで楽しみながらくつろげます。日帰り宴会や宿泊プランなどは、四季折々に変化する多彩なプランがあり、客層に合わせたプランを提案しています。

■住所 紫波町小屋敷字新在家90 ☎673-8555

■泉質 アルカリ性単純温泉(低張性アルカリ性温泉)

■料金 入浴:大人700円/小学生以下350円

宿泊:2食付大人7800円~

■利用時間 入浴:月~金曜 午前10時~午後9時/

土曜 午前9時~午後10時/日曜・祝日 午前9時~午後9時

■定休日 第3水曜日(休日の場合は翌日)

※一般プール営業日は営業カレンダーを確認ください。

●「0円バス毎日運行(要予約)」

※発着場所指定あり JR紫波中央駅・日詰商店街(東北銀行前)

●15人以上の場合は無料送迎バス運行(要予約)



「あづまねマウンテントレイル2019」が行われた東根山麓には、「ラ・フランス温泉館」と「あづまね温泉保養施設ききょう荘」の2つの温泉施設があります。町内外の人々に親しまれている2つの温泉の魅力を地域おこし協力隊の北條苑美さんが案内します。

【案内人】地域おこし協力隊 北條苑美さん 赤石地区出身。関東圏での会社勤務を経て、町の知名度を上げたいと地域おこし協力隊に応募。今年7月1日から「ローカルメディアデザイナー(地域情報編集発信担当)」として活動中。

あづまね温泉保養施設 ききょう荘

ききょう荘の温泉には、天然の保湿成分「メタケイ酸」が多く含まれており「美肌の湯」として親しまれています。また、次亜塩素殺菌と紫外線殺菌のW殺菌を採用。

刺激がなくて柔らかな湯は、少しの入浴でもポカポカになると好評です。

お肌
つるつる
美肌の湯

宿泊も
好評なん
ですよ!

食材
持ち込みで
自炊もでき
ますよ!

女子会
など小さな
集まり
大歓迎

■住所 紫波町上松本字内方96 ☎673-7670

■泉質 アルカリ性単純温泉(低張性アルカリ性温泉)

■料金 入浴:大人520円/小学生200円

宿泊:素泊 大人5440円(1人の場合)/大人3450円(3人以上の場合) ※食事は別途

■利用時間

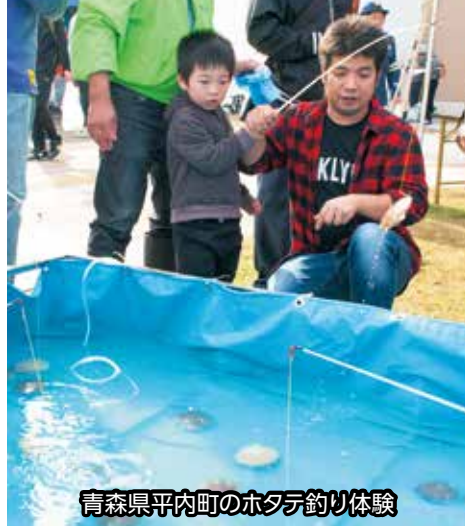
入浴:午前10時~午後9時

■定休日 第2・4火曜日(休日の場合は別に定める)

●休憩室 56畳(定員90人)

3 紫波ネット 2019年 11月号





青森県平内町のホタル釣り体験



しわ牛研究会の皆さん



しわ黒豚をPR



稲藤一のそばのそば打ち体験



マグロ解体ショー



健やかな成長を祈り満1歳一升もち背負い



紫波町商工会女性部の皆さん



姉妹都市・東京都日野市も出店

来て!見て!味わって!物産と食の祭典 紫波町産業まつり

第36回紫波町産業まつりが10月19、20の両日、サン・ビレッジ紫波で開催されました。1日目はあいにくの雨模様でしたが、屋内と屋外特設テントに約80のお店や展示コーナーが軒を連ね、2日間で約1万3500人が訪れ、にぎわいました。

毎年人気のもち振る舞いやもちもち牛、しわ豚、しわ黒豚の試食には長蛇の列ができ、おいしい町産のお肉に来場者も満足の様子。このほか、子どもたちの歌や踊り、満1歳一升もち背負いでは、子どもたちの元気いっぱい一生懸命な姿に来場者は目を細めていました。

また、今年もそば打ち体験やマグロ解体ショー、スタンプラリーなどのイベントが盛りたくさん。販売以外にも、ものづくり体験や工業製品を紹介するコーナーなどさまざまなブースがあり、心もおなかも満たされた2日間でした。



ものづくり体験



紫波ひめ隊のもち振る舞い



PL岩手MBA



あづま幼稚園



オガール保育園



さんさ好み



古館保育所



紫波町消防団ラッパ隊



昭和スターズ



虹の保育園

ステージイベント



バルーンアートに挑戦



つきたてのお餅をどうぞ



長内香さん、謙信君、つむぎちゃん
(滝沢市)

プログラミング体験をしました。
会場でお昼を食べ、オガール地区を
散策したいと思います。



作山圭さん、聡子さん、隼火君
(古館地区)

町内在住ですが、初めて産業
まつりに来まじだ。野菜などの
買い物を楽しむ予定です。

大好評！全国有数のもち米産地もちまき大会



報告

まちづくり座談会 2019



町は7月2日から16日までの期間、町内各地区で「まちづくり座談会」を開催しました。今回の座談会では、町からの情報提供として「紫波町第三次総合計画」と「新たな公共交通」について説明。参加した延べ215人の皆さんからは、「人口減少や高齢化」、「災害時の情報発信」などに関して約150件のご意見・ご質問が寄せられました。

『紫波ネット』では、会場で出されたご意見やご質問および回答の一部を抜粋して紹介します。（内容が似ている質問は、回答を集約して掲載していますのでご了承ください。）

皆さんからのご意見・ご質問

（●参加者発言 ○町からの回答）

7月2日（火） 午後7時～9時

志和公民館 生活会館

◎参加者 22人

●**学校再編**が決まったが、今どのように動いているのかが見えてこない。小中学校に通う子どもがいない家庭の人たちや、地域住民の人たちにも、随時分かりやすく進捗状況を伝えてほしい。

○3月に議会の議決をいただき、広報『紫波ネット5月号』に学校再編の目的やビジョン、望ましいと考える子どもたちのための教育環境を掲載しました。7月から東部・西部地区それぞれの開校準備委員会を開催しています。結論のみならず、委員会での話し合いの内容など途中経過も含めて、広報のほか、班回覧やホームページなどで随時お伝えしていきます。西部地区の人にも東部地区の状況

が伝わるよう努めていきます。

●**人口が減少**する中、できるだけ若者が町内に残るような対策が必要ではないか。

○町や県は、人口減少対策としてさまざまな取り組みをしています。例えば、若者への結婚対策として、県全体で「いきいき岩手結婚サポートセンター（iサポ）」という取り組みを行っています。県内の独身者が会員登録をし、マッチングを行い交際に発展させようとするもので、成婚された方々もいらつやいます。関心のある人は企画課へご相談ください。

県内の市町村はほとんど社会減ですが、町は社会増の傾向にあります。ただ、中央部の人口は増加する一方、東部・西部では人口が減少しています。町全体としては人口増を目指しますが、人が増え

ることについて地域ごとに意見が異なり、コミュニティの問題もあるため、地域の方々が地域課題として捉えて取り組んでほしいと考えています。町は、地域の活動を応援する形でサポートしていければと思います。

※社会増とは転入と転出の差がプラス、社会減とは転入と転出の差がマイナスであること。

7月3日(水) 午後7時～9時

赤沢公民館

◎参加者 32人

●ふるさと納税に関する町の取り組みと実績を知りたい。

○現在、民間のサイト4つを用いてふるさと納税の募集を受けています。返礼品としては米や肉、果樹など214品目をそろえており、31事業者にご協力いただいています。普段食する米などに人気が集まる傾向があり、寄付額の推移を見ると、平成29年度は約800万円、30年度は約7300万円、今年は4～6月で5000万円ほどです。ふるさと納税制度は、町として貴重な財源を確保してさまざまな政策を実現する有効な手段であると捉えています。今後は町の魅力を訴えながら新規事業者や返礼品の開拓を継続し、人気の高い米や肉などの定期便や、果樹、野菜などの季節限定品を供

給していきたいと考えています。

●旧役場庁舎や、学校再編後の空き校舎をどのように活用するのか。

○旧役場庁舎の活用については、現在民間事業者との対話を重ねており、良い方向に進むよう努力していきます。空き校舎の活用については、町の施設として活用できないか全庁的な検討を始めています。検討後、決定した町の活用策を示し、地域の意見を取り入れながら決定していきます。

7月6日(土) 午前10時～正午

赤石公民館

◎参加者 31人

●平成28年度に空き家調査を実施したが、調査の進捗と、調査結果をどのように活用するのか知りたい。

○平成28年度の調査により、町内に約400戸の空き家が存在することが分かりました。昨年10月の速報値で、全国的にも空き家の数が最高値になりましたが、県内でも空き家が増え、岩手県は東北の中でも一番空き家が多いという結果が出ています。前回の調査から年数も経過しているので、再び調査の実施を考えています。空き家はあくまでも個人の資産であるので、原則個人で管理をしていただきたいと考えます。ただ、町外か

ら移り住んで空き家に住みたいという人もいるため、空き家を売りたい・貸したい・買いたい・借りたい人のマッチングを行う「空き家バンク」を開設しています。これまで延べ7件掲載し、2件の売買・賃貸が成立しています。町では空き家に付随した農地に限っては農地取得の要件を緩和するなど、空き家を上手く活用できるように取り組んでいます。

●赤石こどもの家は、100人近い子どもを預かる場としては非常に劣悪な環境である。整備に関する進捗状況を知りたい。

○昭和45年築の建物を赤石こどもの家として使用していますが、第一・第二こどもの家が一緒になっていることもあり、ご指摘のとおりかなり狭い環境です。本年度、学校法人紫波学園が赤石小学校向かいの東側の敷地に民間の施設(定員115人)を整備予定です。

7月6日(土) 午後1時30分～3時30分

古館公民館ふれあいホール

◎参加者 34人

●民生児童委員の推薦にあたり、人選に非常に苦労している。住民の頼りになるのは民生委員しかない。支援者、援護者の確認などを民生委員が担っているが、待遇を改善しなければ今後成り立た

なくなるのではないかと。

○民生児童委員の皆さんには、悩みを抱える人や弱い立場にある人の拠り所として、日々活動いただいています。民生児童委員は、国がボランティアとして依頼しているもので、県と町は民生委員の団体に活動経費を支給しています。報酬だけでなく、役場からお願いする仕事の内容についても検討してまいります。

●古館駅前整備について、跨線橋や西口の整備ではなく、ロータリー・駐輪場・サイクルードの整備を行うということか。

○さまざまな要望がありますが、特に要望の多い駅前のロータリーと駐輪場、歩道の整備を進めていきます。今年測量調査設計に入り、用地補償、駐輪場の整備、ロータリー整備までの事業期間は5年を見込んでいます。

測量調査設計をして具体的に整備の



内容をお示しできるようにすれば、地区での説明会や、班回覧などでその内容をお知らせします。その他、中島・桜田の境から元自動車学校に向かうところが水路と砂利道になっているため、自転車と歩行者の専用道にするよう整備する予定です。通勤通学の際、古館駅まで自転車で行けるようになるので、利用者にとって利便性も良くなります。交通結節点の強化として駅前を整備しますが、整備により通勤通学者の安全な歩行空間の確保につながり、利用しやすい環境になることで空き家も活用され、移住者が定住することを目指して整備をしたいと考えています。

7月8日(月) 午後7時～9時

彦部公民館

◎参加者 17人

●報道で引きこもりに関する事件を目にすることが多い。引きこもりなどにつ

いて、役場に相談があった過去があれば、その人が今どうしているのか調べてみてはどうか。

○昨年、県が引きこもりに関する調査を行ったところ、県内で1600人が国の定義する引きこもりであることが分かりました。そのうち40歳以上が約1000人で、引きこもりが10年以上になる人が約600人いることが分かり、ますます高齢化と長期化の状態になってきています。民生委員や保健師が相談に乗っていますが、全ての事案に対応できるわけではないため、県の専門機関と連携をとりながら対応していきます。

●志賀理和氣神社の移転が決まり、その対岸も整備されているが、彦部側は堤防が未整備の場所がある。向こう側が整備されれば、川の水位が上がって被害が大きくなるのではないか。

○紫波南大橋の下流側は10月末頃まで埋蔵文化財調査を行います。その後、地元で説明会をして工事に入る予定のことです。上流側は志賀理和氣神社の契約が終わって造成工事に入っています。令和2年度末までに神社を建設して現在の神社を撤去し、更地にする予定で、令和3年度から岩手チキン工場の移転に着手しますが、3年かかる見込みです。上流側は事業所の移転を進めないとい

次の工事には入れないという見通しが示されています。彦部は向かい側の甘木堤防が完成したため、お話のような懸念事項が出てきています。川向こうの整備促進と合わせて、彦部堤防の早期着手を町の要望として国に上げていますが、見通しはお示しできない状況です。

7月9日(火) 午後7時～9時

佐比内公民館

◎参加者 21人

●学校再編後、児童館と保育所の施設はどうなるのか。

○東部地区には3つの児童館と1つの保育所があります。東部地区の施設全体では定員180人です。しかし実際に入所している子どもは44人です。子どもの数が少ないだけでなく、東部地区から60人ほどが中央部や盛岡市、花巻市、矢巾町の保育施設を利用している実態があり、年々保育のニーズが高まっていると考えます。子どもたちの育ち合いの形も考えながら、児童施設のあり方について検討を始めています。

●町からの防災情報はどのように伝達するのか。

○携帯電話にはメールで、スマートフォンにはアプリで緊急情報を流せるようなシステムを導入しました。基本的には

この方法で情報を配信しますが、システムに対応できない世帯が500世帯ほどあるのではないかと推測しています。この世帯への対応については、検討中です。このほか、緊急速報はアラートという形でテレビとラジオに同じ情報が流れる仕組みになっています。アラートのほかにもメディアに同じ情報が流れるので、当面はテレビやラジオから情報入手していただきたいです。自主防災組織には、研修会で防災情報の伝達方法をお伝えしていきます。

7月11日(木) 午後7時～9時

中央公民館

◎参加者 25人

●日詰地区の浸水被害について、町の具体的な対策をはっきりと示してほしい。

○北上川に流入する水系を調査したところ、大坪川には町が想定していたよりも広い範囲から雨水が集まること分かりました。調査結果を踏まえて、まず考えなければいけないのは大坪川の区域と日詰川の区域を上流からすみ分けすることです。ポンプ圧送で北上川に放流する許可を得ることを前提として、日詰川にポンプ場を造れるのか、日詰川に集まるものを全て下川原ポンプ場1カ所に集めて増強できるのかなど、国交省との協議を進めたいと考えています。本



年度は課題を整理し、計画の水準や整備基準をはっきりさせて、来年度は段階的な対策を積み上げてまいります。ポンプ場を設置する場合も、国交省から放流量増加の許可を得る場合も、下水道の全体計画を策定して、下水道法や都市計画法の手続きを踏む必要があるため、時間を要することが見込まれます。

●来年度から**敬老会**の形が変わり、75歳の人だけ1回に集めると聞いた。会場が狭いなら対象区を分けるなど、地域によってやり方を考えて継続できるのではないか。

○75歳以上の方々を対象とした敬老会を、平成5年から各地区の社会福祉協議会に委託して開催していますが、急速に進む高齢化や担い手不足などにより、今までの開催方法では継続が困難なことから、各地区社会福祉協議会の方々と協議を重ね、令和2年度以降は節目年令を一堂に会する方法を検討しています。今後の事業の在り方については、広く町民の意見を伺い検討していきます。

7月12日(金) 午後7時～9時

水分公民館

◎参加者 14人

●**デイサービスや介護施設**に入れない人がいると聞か、これからますます高

齢者が増えた場合、お金が無くて施設に入れない人などをどのように解消していくのか。

○介護施設の整備に関しては総合計画にも盛り込みますが、さらに細かい計画として介護保険事業計画を策定しており、3年に1回見直ししています。一般的な介護施設へ入所する場合、経済的問題の有無ではなく、介護の期間がかかる人が優先して入所することになります。町内には100人前後の待機者がいます。この状況を少しでも解消するため、来年までに小規模の特別養護老人ホームを作る計画がありますが、介護従事者の人手不足という問題もあり、建物を作ったが働く人がいないということがないよう慎重に検討を進めています。

●町議会議員選挙の**投票率の低下**をどう捉えているのか。投票率を引き上げるための対策はあるか。

○町議会議員選挙の投票率は56.66%で、8年前と比べると11.54ポイント減少しました。全ての投票区で投票率が低下しています。国政選挙よりも地方選挙の方が投票率は高いといわれますが、都市化の進展や少子高齢化、地域社会とのつながりが弱くなってきていることなどが原因で、違いがなくなってきていると感じています。選挙に関心がない人たちが

への対策としては、中学校や高校での啓発授業や、小学生や中学生のボスカーコンクールへの参加により、関心を持ってもらいたいと考えています。選挙権が18歳以上に引き下げられましたが、全国的に見ても20代の投票率が最も低いものの、18～19歳の投票率は20代より高い状況です。若年層を中心に選挙に関心を持つてもらえるよう、啓発に努めてまいります。

7月16日(火)午後7時～9時

長岡公民館

◎参加者 19人

●**すこやか号の運行**はいつまでか。撤退の理由はお金ではなく運転手の問題なのか。ジャンボタクシーに9人乗ったとして、それぞれ目的の地が別の場合、運行ルートが煩雑になり、時間がかかりすぎるのではないか。

○すこやか号は来年3月まで運行します。来年4月からは新たな公共交通を導入したいと考えています。すこやか号撤退の理由としては、運転手の確保の問題だと聞いています。視察に行った自治体ではITを活用していたので、事業者にも提案していきます。

●若い人が減り、高齢者が増え、**自治会が成り立たない**。長岡に限らず、田舎を

どうしてこうと考えているか。町としてのビジョンと、これまでと今後の活動を知らない。

○地区ごとにさまざまな課題があり、人口が減少する中で、行政と地域が一緒に長岡地区の今後を考え、課題を解決していくために「地域の未来を考える勉強会」を開催しました。また、町は地域課題の解決などについて話し合う地域運営組織形成支援モデル事業を推進しています。希望があった地区をモデル地区とし、町も一緒に考えながら支援しています。地域の中で、課題をどうやって解決しよう、こういうことをしたいという声が出た場合は、企画課にご相談ください。

会議録は、町のホームページに掲載しているほか、各地区公民館や図書館に設置しています。

■担当 企画課 総合政策室

☎(672)2111 内線2314



体 協 だ よ り



[令和元年度] 冬期スポーツ教室のご案内

会員登録料 (保険料込)	幼 児	児童生徒	一 般	65歳以上
	500円	800円	1500円	1200円

※申し込みの際は、会員登録証をご持参ください。本年度、会員登録をしていない人は手続きが必要です。



11月21日(木) 午後0時30分～総合体育館で受付開始

※町外者の受付は定員となっていない教室のみ11月28日(木) 午前9時から受け付けます。

教室名(開講場所)	開催期間	内容・対象・定員・指導者	受講料
スケート教室 (石鳥谷アイスアリーナ)	12/14・15(全2回) 8:50～11:10 集合8:50、解散11:10 ※現地集合・解散	スケート靴の履き方から指導します。技術レベルに応じてクラス分けをして、基本滑走の指導をします。 対象:小学生以上/定員:40人/指導者:町スポーツ推進委員、体育協会職員ほか	3000円 入場料・靴代込み
スキー教室 (網張温泉スキー場)	1/5・11・12(全3回) 8:00～16:30 紫波町総合体育館 正面玄関前集合 出発8:00、解散16:30 (バス送迎があります)	スキーの基本から応用まで、個人の技術レベルに応じてクラス分けをして実施します。 対象:小学3年生以上/定員:30人 指導者:町スキー協会員	9000円 別途リフト代がかかります(詳しくは総合体育館窓口まで問い合わせください)
スノーボード教室 (網張温泉スキー場)	1/6・20、2/3・17、3/2 隔週月曜(全5回) 16:00～16:50	ターゲティングができるまでを目標に、個人の技術レベルに応じて指導します。 対象:小学4年生以上/定員:10人 指導者:町スキー協会スノーボードクラブ	2000円
体育塾 キッズコース (総合体育館)	1/4・11・18・25 毎週土曜(全4回) 19:00～20:30	ラケットの握り方から、ラリーができるまでを目標に実施します。 対象:小学3～6年生/定員:20人 指導者:町バドミントン協会員 ※貸出用のラケット(無料)があります。	2000円
小学生 バドミントン教室 (総合体育館)	12/13・27、1/10・24、 2/7 隔週金曜(全5回) 10:30～11:30	さまざまな遊びを通じて子どもの発達に適した運動をします。親子で触れ合いながら思い切り体を動かしましょう。 対象:満2歳以上の幼児と保護者/定員:20組 指導者:体育協会職員 ※幼児、保護者ともに会員登録が必要です。	1000円 子どもが1人増えるごとに別途500円

※1人につき1家族分の申し込みとなります。

※教室開講中の傷害事故などについて、加入する傷害保険で対応するほか主催者側では一切責任を負いません。

施設紹介

幼児高齢者体育室

秋も深まり、寒い日が続いています。外が寒いと体を動かす機会が減り、運動不足になりがちです。寒い時期には、ソフトブロックや滑り台がある総合体育館の幼児高齢者体育室で体を動かしてみませんか。さまざまな動作を体験することが、幼児の脳と体の発達につながります。

※小学生は入室できませんので、ご了承ください。

■使用料 大人1人につき50円/2時間(12月以降100円)

※町外在住者は大人1人につき150円/2時間(12月以降300円)



【問合せ先】(一財)紫波町体育協会(紫波町総合体育館内) ☎676-2650

参加者募集

チャレンジ健康増進講座 「初心者ボクシングエクササイズ体験教室」

ボクシングの動きを取り入れた有酸素運動エクササイズを体験してみませんか。

全身の筋肉を使うため、筋力アップやシェイプアップ効果、ストレス解消などの効果が期待できます。お誘い合わせの上、ご参加ください。

- 日 時 12月12日(木) 午後7時～8時(受付:午後6時45分～)
- 会 場 総合体育館 幼児高齢者体育室
- 対 象 町民および近隣市町村在住者 ※小中学生は保護者同伴
- 参加費 500円
- 講 師 鬼柳 忠彦さん(江南義塾盛岡高等学校ボクシング部監督)
- 持ち物 動きやすい服装(ジーンズ・スカート不可)、飲み物、タオル
- 申 込 参加費を添えて、総合体育館に申し込みください。

報告 スポレクフェスタ in 紫波を開催しました

体育の日である10月14日に、「第19回スポレクフェスタin紫波」を紫波運動公園内と紫波総合高校弓道場で開催しました。当日は、ニュースポーツ、ストラックアウト、自転車模擬タイムトライアル、各種競技体験など20種類の体験型スポーツイベントが行われました。町内外から延べ約2100人が参加し、さまざまなスポーツ・レクリエーションを楽しみました。



いわてブルーージャ盛岡による
サッカー体験教室



空手道協会による
パンチンググローブキックミット試し技体験



健康福祉課によるスポレクウォーク
(元気はつらつウォーク)



県立大学「ROPE À DÔPE」による
ダブルダッチ体験



(左から)岡崎建設Owlsの加藤治さん(代表代理)、
紫波かしわクラブ監督の工藤勇さん、
小川哲男体育協会会長、阿部伶慈さん

報告

令和元年度優秀選手・優秀団体を表彰しました

県民体育大会紫波町選手団解団式に先立ち、県大会以上で活躍した1選手・2団体を表彰しました。

表彰者および団体は次の方々です。

- ・阿部 伶慈さん(第31回全国高校生銃剣道大会第3位)
- ・紫波かしわクラブ(北日本50歳野球大会岩手県予選4年連続入賞)
- ・岡崎建設 Owls(第39回全日本6人制バレーボールクラブ男子選手権大会優勝)

報告 ロードレース大会を開催

運動公園内特設コースを会場に、町ロードレース大会を開催し、参加した約140人が健脚を競いました。当日はあいにくの天候となりましたが、参加者はたくさんの声援を受けながら公園内を駆け抜けていました。



小学生、ファミリーの部の
スタートの様子



大会に参加した皆さん



募 集

都市計画審議会委員の募集

町は、都市計画について皆さんの幅広い意見を反映させるため、まちづくりに関する事項の調査・審議を行う委員を募集します。

■募集人数 8人

■任期 12月から2年間

■応募資格 常勤の公務員などではない20歳以上で、町内に在住または勤務している人

■応募・問合せ 11月26日(火)までに、都市計画課に配置する応募申込書と「まちづくりへの思い」をテーマとした400字程度の小論文を郵送、メールまたは持参。応募申込書は町のホームページからもダウンロード可能。



都市計画課 都市計画室

☎672-2111 内線2140

✉ toshikei@town.shiwa.iwate.jp

空家等対策協議会委員の募集

町は、空き家対策に関する審議の場として「空家等対策協議会」を設置しています。皆さんからの空き家に関する意見を反映させるため、公募委員を新たに募集します。

■募集人数 2人

■任期 委嘱の日から2年間(開催は年1~2回程度)

■内容 「特定空家等」の認定に関する事項、「紫波町空家等対策計画」の変更に関する事項を協議

■応募資格 空き家対策に関心がある町内在住の20歳以上で、原則として平日の日中に会議に参加できる人

■応募・問合せ 11月26日(火)までに、都市計画課に配置する応募申込書に必要事項を記入し、郵送、メールまたは持参。応募申込書は町のホームページからもダウンロード可能。

ダウンロード可能。
都市計画課 都市計画室

☎672-2111

内線2142

✉ toshikei@town.shiwa.iwate.jp



市民参加

「第六次紫波町母子保健計画(案)」の意見公募

安心して子どもを産み、子どもがより健やかに育つためには、妊娠・出産・子育てへのライフサイクルを通じた切れ目のない支援が必要となります。

この計画は、少子化に伴い子育て環境が変化する中で、効果的な母子保健対策の推進を図るための計画です。この計画について、皆さんからのご意見を募集しています。

■公募期間 11月25日(月)~12月16日(月)

■資料設置場所 町ホームページ、地区公民館、紫波町図書館、ゆいっとサロン、子育て応援センターしわっせ、虹の保育園子育て支援センター、町内保育施設、企画課地域開発室、健康福祉課健康推進室

■提出方法 ご意見、住所、氏名を記載し、持参または郵送、電子メールで提出してください。

※様式は自由。町外の方は、在勤・在学など町との関わりをお書きください。

■提出先・問合せ

健康福祉課 健康推進室

☎672-2111 内線1344

✉ kenko@town.shiwa.iwate.jp

冬休み!親子県議会教室の参加者募集

議事堂内の探検のほか、議場で実際に議員席に座って県議会のクイズにチャレンジします。ぜひ親子でご参加ください。

■日時 12月26日(木)

午後1時~3時30分

■会場 岩手県議会議事堂(盛岡市内丸10-1)

■対象 県内の小学校・義務教育学校に通う5・6年生の子どもと保護者

■定員 20組40人(先着順)

■申込・問合せ 11月15日(金)から29日(金)までに親子の氏名(ふりがな)と子どもの小学校名、学年、電話番号を記載の上、メールでご応募ください。

岩手県議会事務局

☎629-6022

✉ gikai@pref.iwate.jp



防衛省では自衛官を募集しています

高等工科学学校生徒(推薦・一般採用試験)を募集しています。

■受付期間

・推薦採用試験

11月29日(金)まで

・一般採用試験

令和2年1月6日(月)まで

■試験日

・推薦採用試験

令和2年1月5日(日)または1月6日(月)の指定する1日

・一般採用試験

令和2年1月18日(土)

■対象

中卒(見込含)17歳未満の男子

■申込・問合せ

自衛隊岩手地方協力本部 盛岡募集案内所

☎641-5191



町の人事

町は11月1日、職員の人事異動を発令しました。異動1人をお知らせします。

[主任級]企画総務部 総務課付 山田町派遣 三ヶ森 誠(前任:企画総務部企画課)

暮らしの情報



催し

シルバー人材センター主催講習会 (高齢者活躍人材確保育成事業)

60歳以上でシルバー人材センターの会員でない人を対象に、各種講習会を開催します(受講料無料、定員各20人)。

【スマートフォン操作講習】

■日時 11月21日(木)

午前9時30分～午後4時30分

■会場 いわて県民情報交流センター「アイーナ」会議室702

■内容 スマートフォンの基本操作、便利なアプリのご紹介

■申込締切 11月15日(金)まで

【調理補助講習】

■日時 12月3日(火)

午前9時30分～午後4時30分

■会場 菜園調理師専門学校

■内容 衛生や栄養についての講義と調理の基礎

■申込締切 11月26日(火)まで

【美しくあるための接遇マナー・美容講習】

■日時 12月5日(木)

午前9時30分～午後4時30分

■会場 盛岡ヘアメイク専門学校

■内容 就業する上での基礎的なマナーと自身の魅力を引き出すメイクレッスン

■申込締切 11月28日(木)まで

■申込・問合せ (公社)岩手県シルバー人材センター連合会ホームページ(<http://www.silver-iwate.com/>)から申込書をダウンロードし、ファクシミリで送付。

(公社)岩手県シルバー人材センター

連合会

☎621-8671 FAX 621-8672

第66回「学び・羅針盤」読書会

本について一緒に語り合いませんか。聞くだけの参加も大歓迎です。気軽にお立ち寄りください。

■日時 11月23日(土・祝)

午前10時～

■会場 紫波町図書館 ミーティングルーム

■内容 「ぼくらの七日間戦争」宗田 理/作(KADOKAWA)

■問合せ おはなしの森 菅原和子
☎673-6291

潜在保育士再就職支援研修会

県保育士・保育所支援センターは、現在保育園で働いていない有資格者を対象に、保育関係の制度や現在の保育現場などについて学ぶ研修会を開催します。(託児あり。定員3人・要事前予約)

参加無料

■日時 11月28日(木)

午前9時30分～正午

■会場 ふれあいランド岩手 第1・2研修室(盛岡市三本柳8-1-3)

■申込・問合せ 11月25日(月)まで
岩手県保育士・保育所支援センター ☎637-4544

歴史講演会「古代蝦夷の世界をのぞいてみよう2 一坂上田村麻呂と蝦夷」

坂上田村麻呂が描いた理想の東

北の姿や蝦夷に対する対応など、伝承に隠された紫波地方の古代史を、盛岡市遺跡の学び館文化財主査の今野公顕さんにお話していただきます。

参加無料 申込不要

■日時 11月30日(土)

午後1時30分～3時

■会場 野村胡堂・あらえびす記念館 あらえびすホール

■定員 先着70人

■問合せ 紫波歴史研究会 事務局 佐藤 ☎080-2831-5157

動物愛護シンポジウム

動物の適正飼養への関心と理解を深めるため、動物愛護シンポジウムを開催します。

入場無料

■日時 12月8日(日)

午後1時30分～3時15分

■会場 盛岡劇場・河南公民館(盛岡市松尾町3-1)

■内容

- ・情報提供「改正動物愛護管理法の概要について」
- ・基調講演「人と動物がしあわせに共生できる社会を目指して」
女優、(公財)動物環境・福祉協会 Eva 理事長 杉本 彩さん

■申込・問合せ 11月29日(金)まで
岩手県庁 県民くらしの安全課
☎629-5323

クマ出没注意!!

農作業時は、ラジオなどを周囲に聞こえる音量で流しましょう。

■問合せ 環境課 環境室
☎672-2111 内線2252



紫波町民 平日限定 入浴割引券

大人 700円 → 400円

子ども350円 → 200円

※温泉館受付でこの紙面をご提示ください。※1枚で1グループ、期間中何回でもご利用いただけます。※上記金額はお一人様の入浴料金となります。※土・日・祝祭日は利用不可です。

《割引券有効期間》令和元年12月27日(金)まで

要予約 ご入浴でも!!ご宴会でも!!ご宿泊でも!!

0円バス 毎日運行!!

発着場所	時 刻
ラ・フランス温泉館 発	9:00 14:30 15:30
JR紫波中央駅 発	9:30 14:45 15:45
日詰商店街 東北銀行さん前 発	9:45 15:00 16:00
ラ・フランス温泉館 着	10:00 15:15 16:15

※天候や道路状況により予告なく時間を変更する場合がございます。※車内での喫煙・飲食はお断り申し上げます。※上記場所以外での乗車・降車はお断り申し上げます。※0円バスの乗車には前日までの事前予約が必要となります。



お問い合わせ

紫波町小屋敷字新在家90番地

☎019-673-8555

ラ・フランス温泉館 検索 <http://www.lafrance.co.jp/>

お肌に優しいアルカリ性温泉

La France
ラ・フランス温泉館



胃がん検診追加実施のお知らせ

台風のために中止となった10月13日の振り替えとして、追加の胃がん検診を実施します。本年度未受診の人は、この機会に受診しましょう。詳細は、広報と一緒に全戸配布している「追加胃がん検診のお知らせ」をご覧ください。

■日程 11月23日(土・祝)・24日(日)

■時間 開場:午前6時40分 受付:午前7時～9時30分

■会場 役場1階 はつらつホール

■持ち物 胃がん検診受検票(4月に配布した総合検診案内(黄色い封筒)に同封) ※受検票が無い場合は、検診会場で印刷しますので受付でお申し出ください。

■問合せ 健康福祉課 健康推進室 ☎672-2111 内線1342

婦人検診追加実施のお知らせ

6月に実施した婦人検診を受けられなかった人を対象に、追加で検診を実施します。本年度の対象は、令和2年3月31日現在で、満年齢が奇数歳の人です。本年度の対象者でまだ受診していない人は、この機会に受診しましょう。

■日程 12月6日(金)・7日(土)

■時間 開場:午前8時30分、受付:午前9時～11時

■会場 役場1階 はつらつホール

■検診内容

名 称	対象年齢	検診内容	料金
子宮頸がん検診	20歳以上	細胞検査	1300円
乳がん検診	40～64歳	乳房X線撮影2方向	1000円
	65歳以上	乳房X線撮影1方向	1000円

■持ち物 健康保険証、スカート・生理用ナプキン(子宮頸がん検診)、バスタオル(乳がん検診)

■問合せ 健康福祉課 健康推進室 ☎672-2111 内線1342

12月1日(日)から、し尿と浄化槽のくみ取り料金が変わります

くみ取りにかかる経費が上昇したため、町のくみ取り料金が12月1日(日)から変わります。町は、くみ取り業者と利用者の負担を考えて、業者が設定する料金に上限を設けました。なお、詳しい料金体系は、くみ取り業者から利用者へチラシなどを配布しますのでご確認ください。

■料金

	現行	改定後(12月1日(日)～)
①最低料金 (180リットルまで)	1000円	1350円
②10リットルごとに加算 (180リットル超の場合)	55円	75円
③消費税	①②に含む	別途加算されます

※移動式仮設トイレ1基の場合は、出張料金として1000円(消費税別)が別途加算されます。

■問合せ 紫波環境株式会社(くみ取り業者) ☎672-2656
環境課 環境室 ☎672-2111 内線2250

40代からのメガネ選び

Assist

眼科処方箋 承ります。
...認定眼鏡士の店...
眼鏡屋 目明かし堂
(有限会社佐藤時計店)

オガール店 672-5572
日詰店 676-2838

私って、老眼? 自己診断チェックシート付き

いまの私を“自分らしく”楽しむ!
40代からの生き方選び、老眼なんて、コワくない!

音声QR

相心館 ゆう美容室

休館日
11月 10日・11日・17日・18日・25日・26日
12月 1日・2日・9日・15日・16日・23日・30日

スタッフ募集中

デザイナーのお薦めです
楽しいのがいいかな

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-31
TEL 019-676-5825
http://www.7b.biglobe.ne.jp/~aisinkan_yu/
E-mail yu@posh.jp

ホームページでお得情報をご覧ください。
携帯・スマホからアクセス!

至花巻 4号線

こずかた診療所 内科

■診療時間平日 9:00～12:00/13:30～17:30
■受付時間平日 8:30～11:30/13:15～17:00
■休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

■施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもとに看護・介護及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。
■利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。
※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1～5の方

矢巾町大字又兵衛新田5-335 医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)
☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)

2019年 新酒にごりワイン 赤・遅摘み/ロゼ

11/21(水) 発売

(株)紫波フルーツパーク
紫波町遠山字松原1-11 道の駅紫波200m奥
☎019-676-5301

今年もおいしくできました!

自園自醸ワイン 紫波

岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン
お問い合わせは県内酒販店・スーパー・百貨店にて

紫波ワイン 検索
<https://www.shiwa-fruitspark.co.jp/>

暮らしの情報



お知らせ

令和元年度 紫波町成人式のお知らせ

令和2年1月12日(日)に、紫波町多目的スポーツ施設(サン・ビレッジ紫波)で「令和元年度紫波町成人式」を開催します。当日は、対象者に送付する案内状をご持参ください。詳しくは町ホームページをご確認ください。

- 日時 令和2年1月12日(日)
午後0時30分～3時30分(予定)
- 会場 紫波町多目的スポーツ施設
(サン・ビレッジ紫波)
- 対象 平成11年(1999年)4月2日から平成12年(2000年)4月1日
生まれの新成人
- 問合せ 生涯学習
課 学習推進室
☎672-2111
内線3121
✉syogaigakusyu@town.
shiwa.iwate.jp



未婚の児童扶養手当受給 者に給付金が支給されます

児童扶養手当受給者のうち、未婚のひとり親の人に対して臨時・特別の措置として、給付金が支給されます。

- 支給要件 次の全ての要件を満たす人が対象です。
- ①令和元年11月分の児童扶養手当の支給を受ける父または母
 - ②令和元年10月31日時点で、これまでに婚姻(法律婚)をしたことがない人
 - ③令和元年10月31日時点で、事実婚をしていない人または事実婚の

相手方の生死が明らかでない人

- 支給額・時期 1万7500円
原則として、令和2年1月に支給
- 申請方法 11月29日(金)までに
①申請書(こども課に配置)と②戸籍謄本(抄本)を提出。
- 問合せ こども課 子育て支援室
☎672-2111 内線3181・3130

不動産の公売

町は、町税の滞納処分により差し押さえた次の不動産について公売を予定しています。

- 内容
- ・日誌駅前一丁目 宅地 199㎡
 - ・赤沢字漆山 山林 3687㎡
 - ・赤沢字御蔵山 山林2筆 37684㎡
 - ・船久保字五竜 山林2筆 4317㎡
 - ・山屋字中居 山林 6228㎡
 - ・山屋字日影 山林 35223㎡

■公売入札日 11月27日(水)(予定)
※地番・地図・見積価格などの詳細は、税務課窓口でどなたでも閲覧できます。

※事情により、全部または一部の物件について公売を中止または追加する場合があります。

- 問合せ 税務課 収納推進室
☎672-2111
内線2280・2283・2284

Jアラート全国一斉情報伝達訓練

地震・津波や武力攻撃などの発生時に備え、全国瞬時警報システム(Jアラート)を用いた情報伝達訓練を行います。町内では、各小・中学校と各公民館の受信機が作動し、「これ

はJアラートのテストです」という放送が流れます。この訓練は、他市町村でもさまざまな手段を用いて行われます。

- 日時 12月4日(水) 午前11時頃
■問合せ 消防防災課 消防防災室
☎672-2111 内線2362



相談

特設人権相談所

12月4日から10日までは、全国一斉の「人権週間」です。12月4日のふれあい相談に合わせて、人権相談所が開設されます。相談員は人権擁護委員の皆さんです。相談は、個室で行われますので、気軽にお越しください。

相談無料 申込不要

- 日時 12月4日(水)
午前10時～午後3時
- 会場 総合福祉センター 特設相談室
- 問合せ 紫波町社会福祉協議会
☎672-3258

認知症なんでも相談

町内に3カ所あるグループホーム(認知症対応型共同生活介護事業所)の職員と町の認知症地域支援推進員が認知症に関する相談に応じます。

相談無料 申込不要

- 日時 12月11日(水)
午後2時～4時
- 会場 情報交流館 1階 市民交流ステージ
- 問合せ 長寿介護課 高齢者支援室
☎672-2111 内線1231

出張としょかん「直売所名人が教える野菜づくりのコツと裏ワザ」

直売所野菜づくりの名人が編み出した野菜づくりのコツと裏ワザを、映像を見ながら楽しく学びます。参加無料 申込不要

- 日時・会場
- ①12月4日(水) 午後1時30分～3時 志和公民館
 - ②12月6日(金) 午後1時30分～3時 古館公民館
- 解説 (一社)農山漁村文化協会 水野 隆史さん(雑誌「現代農業」「うかたま」などを発行している農業専門の出版社です)

紫波町図書館調べる学習コンクール表彰式

コンクールの受賞者9人が取り組みの感想や作品の見どころなどを発表します。どなたでも観覧できますので、ご来場の上、子どもたちの作品をご覧ください。

- 日時 12月7日(土) 午前10時～正午
■会場 情報交流館 2階 大スタジオ

【問合せ】紫波町図書館 ☎671-3746

図書館
からの
お知らせ

皆さんで住みよい地域をつくりましょう ～町民一斉清掃の年間参加者目標は1万4400人～

毎年4月と8月に町民の皆さんで地域の清掃活動をする「町民一斉清掃」。町は、環境創造のまちづくりに向けて、年間参加者数「1万4400人」という目標値を掲げています。

今年の年間参加者数は、大人1万1389人、子ども933人、合計1万2322人でした。昨年度より181人増加しましたが、目標達成には至りませんでした。

家族や友達に声を掛け合い、住みよい地域を皆さんでつくりましょう。



家庭ごみ月別排出量

本年度上半期に、町内で排出された家庭ごみの量をお知らせします。

単位：kg

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計（上半期）	直近3カ年平均との比較
燃やせるごみ	365,780	456,780	394,440	428,320	447,190	389,640	2,482,150	102.07%
生ごみ	52,950	53,400	44,600	60,660	85,260	68,450	365,320	93.69%
資源ごみ	67,980	68,800	60,800	63,090	64,860	60,170	385,700	94.63%
大型・不燃ごみ	53,860	67,130	50,790	43,280	48,870	46,980	310,910	109.58%
その他	1,770	1,890	3,200	3,700	1,030	1,600	13,190	75.47%
計	542,340	648,000	553,830	599,050	647,210	566,840	3,557,270	100.76%

【問合せ】環境課 環境室 ☎672-2111 内線2251

町長メッセージ

熊谷 泉

台

風15号、19号が関東と東北に甚大な被害をもたらした。特に台風19号により本県沿岸の市町村も被災した。町は、山田町へ職員1人を応援派遣することとした。これだけの大型台風が発生する背景には、近年の温暖化があるものと考えられる。町内では住宅の屋根の破損、倒木、リンゴの落果などの被害があったものの、大きな浸水被害はなかった。

報道映像でも映し出されたが、千曲川、阿武隈川など関東、東北の広範囲で大河川とその水系が氾濫し、住宅の一階が水没するほどに水位が上昇した。やはり河川防災の基本は堤防であることが分かる。しかし今回の台風はそれらを破壊するほどの威力であった。

当町においても平成14年、19年、そして25年8月9日の豪雨災害で床上浸水、土砂災害を経験している。今回、北上川の水位はあまり上がらず難を逃れたが、北上川の築堤計画の30%は未完成であり、町は北上川上流改修期成同盟会に参加し、毎年国土交通省に対する要望活動を行っている。項目は北上川中流部紫波地区と彦部地区の築堤と中洲の除去である。そのうち中洲の除去は今年から始まり、紫波地区の築堤工事の一環として志賀理和氣神社の移転も始まり、10月に社殿新築工事の地鎮祭も行われた。

台風19号の浸水域はハザードマップとほぼ重なっており、氾濫により実証されることは本当に残念である。皆さんも当町の防災マップを今一度確認し、非常時の避難行動につなげていただきたい。



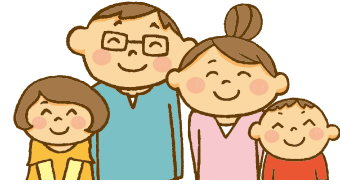
町の防災マップはこちらから

キラッと★ちゃ・ちゃ・ちゃんねる

このコーナーでは毎月、町の子育て支援情報など、「子ども」に関する情報をお伝えしています。
今回は、11月の児童虐待防止推進月間に合わせ、児童虐待防止についてお伝えします。

児童虐待のない社会を目指して

『189ちいさな命に待ったなし』 ～11月は児童虐待防止推進月間です～



児童虐待とは？

児童虐待とは、しつけとは異なるもので、子どもの心や体を傷つけたり健全な成長や発達を損なったりするものです。次の4つのタイプがあります。

〈虐待の種類〉

- ・**身体的虐待** 殴る／蹴る／家の外に閉め出す など
- ・**心理的虐待** 子どもの前での暴力・暴言(DV)／言葉による脅し／無視／子どもの存在を否定するような言葉を浴びせる など
- ・**性的虐待** 子どもへの性的行為／性的行為を見せる／ポルノグラフィの被写体にする など
- ・**ネグレクト(育児放棄)** 乳幼児を家に残して外出する／食事を与えない／病気でも病院に連れて行かない など

子どもにどんな影響を及ぼすの？

児童虐待は、子どもたちの心身にさまざまな影響を及ぼすといわれています。なお、近年では脳の萎縮などが起こることが科学的に分かっています。

- ・運動機能や知的発達が遅れる可能性がある
- ・情緒不安定になり、強い攻撃性などの精神症状が表れることがある
- ・「自分を大切にしたい」という思いや「頑張ろう」という意欲が低くなる
- ・人を信頼することが難しくなる など



こんな「子ども」と「保護者」が心配です

子どもたちを虐待から守るためには、一刻も早く兆候に気づき、必要な支援につなげることが大切です。次のような親子の様子に気付いたら、迷わずにこども課または岩

手県福祉総合相談センターまでご相談ください。連絡者や相談内容に関する秘密は守られます。



子ども

- ・いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がする
- ・不自然な傷や打撲の痕がある
- ・衣類や体がいつも汚れている
- ・家に帰りがたらない
- ・夜遅くまで一人で家の外にいる



保護者

- ・小さい子どもを家に置いたまま外出している
- ・子育てに関して拒否的・無関心、または強い不安や悩みを抱えている
- ・子どものけがについて不自然な説明をする

虐待の背景には、子育ての悩みや家庭の不和、経済的な問題など、保護者の困難な状況や悩みが隠されている場合が多くあります。また、苦しんでいても助けを求められずにいる場合もあります。虐待はどの家庭でも起こり得る問題であることを意識し、社会全体で子どもたちを守っていきましょう。

あなたの1本の電話で救われる子どもがいます。児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。(住んでいる地域の児童相談所につながります)

※一部のIP電話からはつながりません。

いち はや く
189
児童相談所
全国共通
3桁
ダイヤル

報告

盛岡広域振興局と町は11月5日、ユニバース紫波店の店頭で児童虐待防止キャンペーンを実施しました。職員9人が来店者にチラシを折り込んだポケットティッシュ200個を配り、児童虐待防止を呼び掛けました。

ラ・フランス温泉館のキャラクター「つるりん」もキャンペーンに参加しました



〈児童虐待に関する相談先〉

こども課 こども室
☎672-2111 内線3130
岩手県福祉総合相談センター
☎629-9605





笑顔があふれた親子ペアの部

地域おこし協力隊だより

地域おこし協力隊
永井 尚子さん



しわわ

shi・wa・wa

■担当 商工観光課 地域おこし協力隊 ☎672-2111 内線2211

私が担当として関わっている「あづまねイイ山イイ湯だなプロジェクト」最大のイベントであるトレイルランニング大会「あづまねマウンテントレイル」を、10月6日に無事開催しました。昨年に続き2回目の開催となる今大会では、より良い大会づくりを目指し、①ファンづくりのベースとなるメインターゲットの設定とターゲットに訴求するブランディング②紫波の資源の魅力発信③前回の実施から見えてきた運営上の課題の解決、の3つを意識して取り組みました。

まず、昨年から大きな変更点は「親子ペアの部」というカテゴリーの新設です。昨年のあづまねマウンテントレイルは、13kmを走行するカテゴリー1つのみで、高校生以上に参加資格がありませんでした。そこで昨年度の参加選手の中心層である30〜40代の方々の家族の存在に注目し、試験的に小学生と保護者が参加できるカテゴリーを新設しました。これにより、来場者が増え、年齢層の幅が拡大。何より子どもたちの明るい声と笑顔があふれる温かい雰囲気になりました。

もう一つ、昨年度からの大きな違いは、同時開催のアウトドアと食のマルシェの充実です。地元アウトドアショップのご協力をいただき、今年も全国的に事業を展開する個性的なアウトドアメーカーに出店していただきました。さらに5店舗の飲食店に出店いただき、飲食店ブースの充実を図った結果、来場者の皆さんに楽しんでいただくことができました。また、町内の生産者や事業者の皆さんにご協力いただき、エイドステーション（補給ポイント）では今が旬の大粒ブドウと洋梨、おふるまいでは新米の卵かけご飯を提供することができ、旬の食を通じて町の魅力を発信しました。

あづまねマウンテントレイルは、ご協賛社様、ボランティアスタッフの皆さまなど、たくさんの方々の支えがあつて開催することができました。選手の皆さま、来場してくださった皆さまを含め、この大会に関わってくださいました皆さまには感謝の念に堪えません。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。皆さま、本当にありがとうございます。

地域おこし協力隊を紹介します



町は10月1日、地域おこし協力隊として南條亜依さんに辞令を交付しました。地域おこし協力隊は、都市部に在住し、地方への移住や地域社会への貢献に関心を持つ人が、過疎地域などの条件不利地域に住民票を移し、地域に暮らしながら地域活性化や都市住民の移住・交流などの地域協力活動を行います。

南條 亜依さん
【プロフィール】福島県石川町生まれ。神田外語大学国際コミュニケーション学科4年在学中で、趣味は旅行とスノボ（国内も海外も好き！）特技は書道で師範資格を持っています。書道は現在も続けています。

私が紫波町地域おこし協力隊として働くことに決めたときっかけは、昨年2〜3月に参加したインターンシップです。大学での専攻は国際関係なので、まちづくりや地方創生とは全く異なる世界で過ごしていました。しかし、インターンシップで初めて訪れた岩手県で多くの「かっこいい大人」に出会い、「私もそんな大人になりたい！」と思い、紫波町の地域おこし協力隊に着任しました。

私は地域おこし協力隊として、スタートアップサポーター（リノベーションまちづくり推進）を担当します。それに伴い現在、日詰商店街の空き家を自らリノベーションし、人々が集い新しい学びの化学反応が生まれる拠点を作っています。この拠点を軸として、商店街の活性化、空き家活用の促進、関係人口の増加など紫波町の未来につながることに発展させていきたいと考えています。移住してまだ日が浅いため、知らないところがたくさんありますが少しずつ探検して行こうと思います。普段の活動では日詰商店街にいる時間が多いと思いますので、見かけたらぜひ「あいちゃん！」と声を掛けていただけるとうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。

本の魅力伝える「POPコンクール」 の入賞者をお知らせします

町は、家族みんなで読書に親しんでもらおうと、「第7回 わたしの『おすすめ本』POPコンクール」を開きました。POPとは、簡単な文やイラストで本の魅力を表現するカードのこと。今年は、それぞれが選んだおすすめ本を紹介するすてきな作品が336点寄せられました。審査の結果、次のとおり入賞者が決まりましたのでお知らせします。(賞・学校・学年・氏名・題名／敬称略)

《小学校・低学年の部》

《教振会長賞》

◆ 赤沢小学校 3年

佐々木 彩里愛

「ねごさかな」



《図書館長賞》

◆ 水分小学校 1年

細川 蒼太

「どんぐりむらのほんやさん」

《特別賞》

◆ 赤沢小学校 2年

梅澤 杏里沙

「どんぐりと山ねこ」

◆ 赤沢小学校 3年

吉田 樹生

「遠野物語」

◆ 水分小学校 3年

横澤 寛大

「しつてるねん」

◆ 水分小学校 2年

須川 拓海

「魔法ののろいアメ」

◆ 佐比内小学校 1年

中田 大喜

「みいつけた! みぢかないきものくさはらのちいさないきもの」

◆ 赤石小学校 2年

横田 雪音

「チビゾウはぼくのともだち」

◆ 小学校・高学年の部

《教振会長賞》

◆ 水分小学校 6年

中村 ゆきか

「真夜中の図書館14 死の目撃者」

◆ 図書館長賞

◆ 日話小学校 4年

新里 心音

「ボタンちゃん」

◆ 佐比内小学校 5年

佐々木 長嗣

「ジャイアントジャムサンド」

◆ 星山小学校 6年

柳沢 明日香

「かがみの孤城」

◆ 赤沢小学校 6年

伊藤 直哉

「ふたりユースケ」

◆ 中学校の部

《教振会長賞》

◆ 紫波第一中学校 2年

田村 夏奈

「Jポップで考える哲学」

◆ 図書館長賞

◆ 日話小学校 4年

澤谷 心々瞳

「みんながつて、それでいいパラ陸上から私が教わったこと」



《特別賞》

◆ 上平沢小学校 5年

三浦 舜太

「そいつの名前は、エメラルド」

◆ 日話小学校 4年

新里 心音

「ボタンちゃん」

◆ 佐比内小学校 5年

佐々木 長嗣

「ジャイアントジャムサンド」

◆ 星山小学校 6年

柳沢 明日香

「かがみの孤城」

◆ 赤沢小学校 6年

伊藤 直哉

「ふたりユースケ」

◆ 中学校の部

《教振会長賞》

◆ 紫波第一中学校 2年

田村 夏奈

「Jポップで考える哲学」

◆ 図書館長賞

◆ 日話小学校 4年

澤谷 心々瞳

「みんながつて、それでいいパラ陸上から私が教わったこと」



《図書館長賞》

◆ 紫波第一中学校 2年

塩井 琴音

「満天のゴール」

《特別賞》

◆ 紫波第二中学校 2年

藤井 尊香

「怪盗探偵山猫」

◆ 紫波第一中学校 1年

佐々木 玲奈

「5分後に思わず涙青い星の小さな出来事」

◆ 紫波第二中学校 3年

伊東 希雪

「あん」

◆ 紫波第一中学校 2年

松尾 結

「神のダイスを見上げて」

◆ 紫波第一中学校 3年

佐々木 咲綾

「春や春」

◆ 学校賞

水分小学校、佐比内小学校、赤沢小学校、紫波第一中学校



体の健康

お忘れではないですか？大人の予防接種



感染症の蔓延^{まんえん}を予防するため、予防接種法に基づいて実施しています。

対象に当てはまり、予防接種を希望する人は、実施期間などを確認して早めに受診・接種してください。

風しん抗体検査および 風しん第5期定期接種

風しんウイルスによる感染の蔓延を予防します。

■対象 昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

※対象者には、今年6月末にクーポン券を個別配付しています。昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれの男性は、令和2年度の対象となります。

ますので、通知が届くまでお待ちください。

■実施場所 全国の実施機関

■実施期間 7月1日(月)～令和2年3月31日(火)

高齢者肺炎球菌 ワクチン予防接種

高齢者の肺炎球菌性肺炎の重症化を予防します。

■対象 ①町内に住民票があり、自らの意思で接種を希望する左記の人

- ・令和元年度に65歳となる人
- ・過去に肺炎球菌ワクチンの接種を受けていない人で、令和元年度に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる人、また100歳以上の人

(過去に接種を受けたことがある人は、定期予防接種の対象外)

②接種時に60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身の周辺の日常生活が極度に制限される程度の障がいがある人、およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある人(町の許可が必要)で、自らの意思で接種を希望する人

機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある人

(町の許可が必要)で、自らの意思で接種を希望する人

※対象者には、今年6月末に接種券を個別配付しています。

■実施場所 指定医療機関

※指定医療機関外で接種を希望する際は、事前に健康福祉課で手続きが必要です。

■実施期間 7月1日(月)～令和2年3月31日(火)

■補助金額 5000円(医療機関の接種料金との差額は自己負担)

※対象者で生活保護を受けている人には、医療機関の定める金額を全額補助します。

※接種前に健康福祉課で手続きが必要です。

高齢者インフルエンザ 予防接種

インフルエンザの予防や重症化を予防します。

■対象 町内に住民票があり、自らの意思で接種を希望する下記の人

①65歳以上の人

②60歳以上65歳未満で心臓・じん臓または呼吸器の障がい、免疫機能の障がいのある人(身体障害者手帳1級)

■実施場所 指定医療機関

※指定医療機関外で接種を希望する際は、事前に健康福祉課で手続きが必要です。

■実施期間 10月1日(火)～令和2年1月31日(金)

■補助金額 2200円(医療機関の接種料金と差額は自己負担)

※対象者で生活保護を受けている人には、医療機関の定める金額を全額補助します。

※接種前に健康福祉課で手続きが必要です。





福祉

ちゃんと眠れていますか？

～2週間以上続く不眠は心の「SOS」サインです～

睡眠は健康を維持するために欠かせないものです。十分な睡眠がとれないと、体や心にさまざまな影響を及ぼします。

睡眠時間が足りないと、イライラが募ったり集中力が低下しやすくなったりして、仕事のミスや事故などの原因にもなります。

しかし、問題はそれだけではありません。寝不足の状態が続くと交感神経が活発化して高血圧を誘発したり、インスリンの働きが悪くなり血糖値が上昇したりして、糖尿病の原因になることもあります。また、免疫力が低下して、風邪やインフルエンザなどの感染症にもかかりやすくなってしまいます。

睡眠の世代別ポイント

〈若い世代〉～中高生など～

夜更かしを避け、体内時計のリズムを保ちましょう。

・寝床に就いた後にスマホや携帯電話を使ったり、ゲームをしたりすると、生活が夜型化します。

・頻繁に夜更かしすると体内時計がずれていきます。起床直後に太陽光に当たり、体内時計をリセットしましょう。

〈働く世代〉～20代から60代前半まで～

疲労回復・能率アップのため、毎日十分な睡眠をとりましょう。

・睡眠不足が長く続くと疲労回復が

難しくなります。毎日、必要な睡眠時間を確保することが大切です。

〈熟年世代〉～60代後半から～

朝晩メリハリ、昼間に適度な運動で良い睡眠をとりましょう。

・高齢になるほど必要な睡眠時間は短くなります。無理に長時間眠ろうと寝床にとどまると、かえって睡眠の質が低下します。

・日中は適度に体を動かすなど、生活にメリハリをつけましょう。

●スムーズに寝付くコツ

・自分に合った方法でリラックスを心掛ける。

・ぬるめを感じる湯温でゆつたりと入浴する。

・夕食後は、カフェインを含むコーヒーや緑茶などの摂取を控える。

●よく眠れない人は要注意

「不眠」と「うつ病」の関わりは非常に深いといわれています。不眠が2週間以上続く場合は、「うつ病」のサインかもしれません。

そんなときは1人で悩まず、専門の医療機関やかかりつけの医師に相談しましょう。



■問合せ 健康福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1321

ヘルシーレシピ



酢を加えておいしく減塩！

【松前漬け】

作り方

- ①酒をひと煮立ちさせ、するめを浸す。
- ②昆布を酢に浸して戻す。
- ③切干大根は洗って、水に10分浸して戻す。
- ④ニンジンも千切りにする。
- ⑤漬け汁をひと煮立ちさせ、熱いうちに材料を漬ける。

ポイント

☆漬けてから数時間で食べられます。
☆昆布を戻すときは水でも構いませんが、酢に浸すと柔らかく仕上がります。☆冷凍保存もできます。

材料【作りやすい分量】

するめ(細切り) 50g
昆布(細切り) 50g
ニンジン 1本
切干大根 25g
酒 大さじ5
酢 大さじ2

【漬け汁】

醤油 60cc
砂糖 大さじ2
みりん 大さじ2
水 100cc
酢 大さじ2

保存用なので
多めの分量です

【レシピ提供】

紫波町食生活改善推進員協議会 古館地区
会員の皆さん



「日本酒の日」は地酒で乾杯！

10月1日の「日本酒の日」に合わせて、「KAMPAI! SHIWA Sake Festa 2019」が盛岡南ショッピングセンター・ナックスで開催されました。県飲食業生活衛生同業組合紫波支部（高橋伸支部長）が初めて開催したもので、町内4酒造店が集い、自慢の日本酒を提供しました。

午後7時には東京都で開かれた日本酒のイベント会場をスクリーンに映し、全国一斉に乾杯。参加した約120人は、各蔵の日本酒を味わったほか、町内の飲食店が提供した酒かす料理や鍋料理などを満喫しました。高橋支部長は「世界で日本酒の人气が高まる中、町の日本酒の魅力を知り、心から楽しんでほしい」という思いで開催しました。より良いイベントになるよう、今後根を生やして大きな力強い花を咲かせたいです」と話しました。



津軽三味線奏者の藤原翼さんの演奏で開幕後、盛大な鏡開き



実証実験では、運行事業者であるヒノヤタクシー（大野尚彦社長）が、ジャンボタクシー（最大乗客数8人）3台を運行しました

デマンド型乗り合いバスの実証実験を行いました

町は10月4日から31日まで、新たな公共交通手段としてデマンド型乗り合いバスの実証実験を行いました。デマンド型乗り合いバスは路線や時刻表を設けず、配車システムには利用者の乗車場所や予約状況などがリアルタイムで把握できる人工知能（AI）を搭載。利用者の希望に応じた乗車場所や目的地の指定が可能なることから、「他の人と乗り合いになるが、家の前まで来てくれるので利用しやすい」と好評で、期間中は492人が利用しました。実証実験で得られた課題などを、来年4月以降の本運行に生かしていきます。

今年もかわいいおばけたちがやってきた♪

オガール地区で10月11日、子育て応援センターしわっせ主催のハロウィーンパレードが行われました。今年で5回目を数えるこのイベントには、お気に入りのキャラクターなどに仮装した0歳児から3歳児までの子どもたち31人と保護者34人が参加。オガールエリアの各店舗で「トリック・オア・トリート」と唱えて、シールやお菓子をもらうシールラリーを楽しみました。日詰地区の堀内鳳示君（2歳）と玉山創士朗君（2歳）は大好きなキャラクターの仮装に身を包み、お母さんたちは「良い思い出になりました」と笑顔でした。



かわいいおばけたちに、大人たちはみんなにっこり

アウトドアスポーツを楽しむ一日

町教育委員会は10月5日、希望郷いわて国体自転車ロードレース競技の会場となった佐比内サイクルパークで「紫波町アウトドアスポーツフェスタ」を開催しました。自転車で全長230m、高低差約15mの坂を駆け上がり、タイムを競う「クライム・スプリントレース」には、ロードバイクの部と一般自転車の部に高校生から50代まで24人が参加。選手の力走に、観客からは大きな声援が送られました。このほか、ロードバイクやスケートボード体験も行われ、参加した約60人はアウトドアスポーツの楽しさに触れていました。



参加者は最後まで全力で坂を駆け上がりました



熊谷町長(左)から花束を受け取った遠山さん

100歳おめでとう！ 遠山 ヨシエさん(赤沢)

10月1日に100歳を迎えた遠山さんのもとへ、熊谷町長が10月2日にお祝いに駆けつけました。ご自宅で家族とともに町長を迎え入れた遠山さん。甘い食べ物とうなぎが好きで、ご長寿の秘訣とのこと。10月4日には、お子さん家族約20人でお祝いの会を開くと教えてくれました。

町内の100歳以上のご長寿は遠山さんを含めて18人で、男性3人、女性15人です。(10月31日現在)

消防車両2台を更新



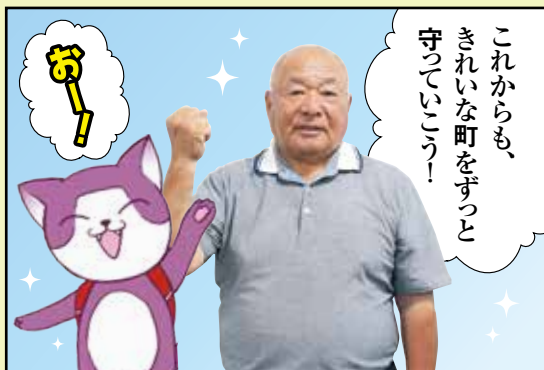
新しい消防車両を前に笑顔を見せる第2分団第1部(左)と第3分団第3部(右)の皆さん



消防団第2分団第1部(古館地区)と第3分団第3部(水分地区)の小型動力ポンプ付積載車を更新し、9月26日に交付式を行いました。購入費用は2台で約2090万円。熊谷町長は「地域の安全安心なまちづくりのため、訓練や啓蒙活動などに活用していただきたい」と話し、第2分団の小川英隆分団長と第3分団の大山吉晴分団長は「町民の生命、身体、財産を守り、災害の被害を最小限に抑えるため、さらに精進してまいります」と決意を表明しました。

行ってみよう

紫波の自然と環境編⑥
「ごみポイ捨て監視員」



ごみポイ捨て監視員 (紫波町産業部 環境課)

■住所 紫波町紫波中央駅前2-3-1
■電話 ☎672-2111 内線2252

『ごみを拾う犬もも子』
(中野英明/作)、紫波町
図書館でも貸出中



町は、「紫波町ごみポイ捨て禁
止条例」制定と同時に、「ごみポイ
捨て監視員」制度を創設しまし
た。各地区で監視員が月3回以上
巡回を行い、交通安全テント作戦
などイベントや行事での啓発活動
を行っています。また、紫波夏まつ
りの翌日には、紫波一中生と一緒に
会場周辺の清掃活動も行っている
ほか、スクールガードの活動を兼
ねて清掃や見回りが行われたりも
します。一人ひとりが「ごみのない、
美しい町」を守り続けましょう。

ポイ捨てゼロの
町をめざして！



あずりん
東根山で暮らす、ねこの子ども。紫波の自然と環境を守るためなら「ねこの手を貸す」よ！
紫波のくだものが大好き！